エアサスコントローラー 取付説明書
レクサス RX450h GYL16W(H24.4～)

⚠取り付け時の注意

●本体および配線類はステアリング、シフトレバー、ペダル、パーキングブレーキの操作を妨げるような取り付けをしないでください。運転の邪魔になるばかりでなく事故の恐れがあります。
●本製品は車種別専用ハーネスが設定されている車種専用です。車種別専用ハーネスが設定されていない車種には取り付けできません。また、車種別専用ハーネスが設定されていない車種への取り付けに関するサポートは一切おこなっていません。
●取り付け前に、必ずエンジンを停止させバッテリーマイナス端子を外してください。
●コネクターを引き抜くときは、コネクターの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクターを無理に引っ張りますと、コンピューターが破損する恐れがあります。
●配線部分を引っ張ることは絶対にしないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
●コネクターを接続するときは、カチッと音がするまで奥まで確実に差し込んでください。
●本製品を取り付ける際は、ハーネス、ユニット、配線などがシートレールやペダルに噛み込まれたり、挟まれる可能性のある場所には絶対に設置しないでください。製品破損やハーネス断線の恐れがあります。
●本体を直射日光の当たる場所やエアコン吹き出し口付近の温度が極端に変化する場所、熱のこもる場所には取り付けないでください。変色、変形、故障の恐れがあります。

■取付手順（はじめにお読みください）

①エンジン停止後（イグニッションスイッチOFF後）6分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子（ハイブリッド車はラゲッジルームにある補機バッテリーのマイナス端子）を外します。
※バッテリーマイナス端子を外した場合、その後バッテリーマイナス端子を接続してもステアリングロックの解除およびエンジン始動ができない場合があります。その際は、イグニッションキーOFF状態で運転席側ドアを一度開閉してください。ステアリングロックの解除およびエンジン始動ができるようになります。なお、バッテリーマイナス端子を外すことで各種メモリー・設定値が初期値に戻る場合がありますがあらかじめご了承ください。

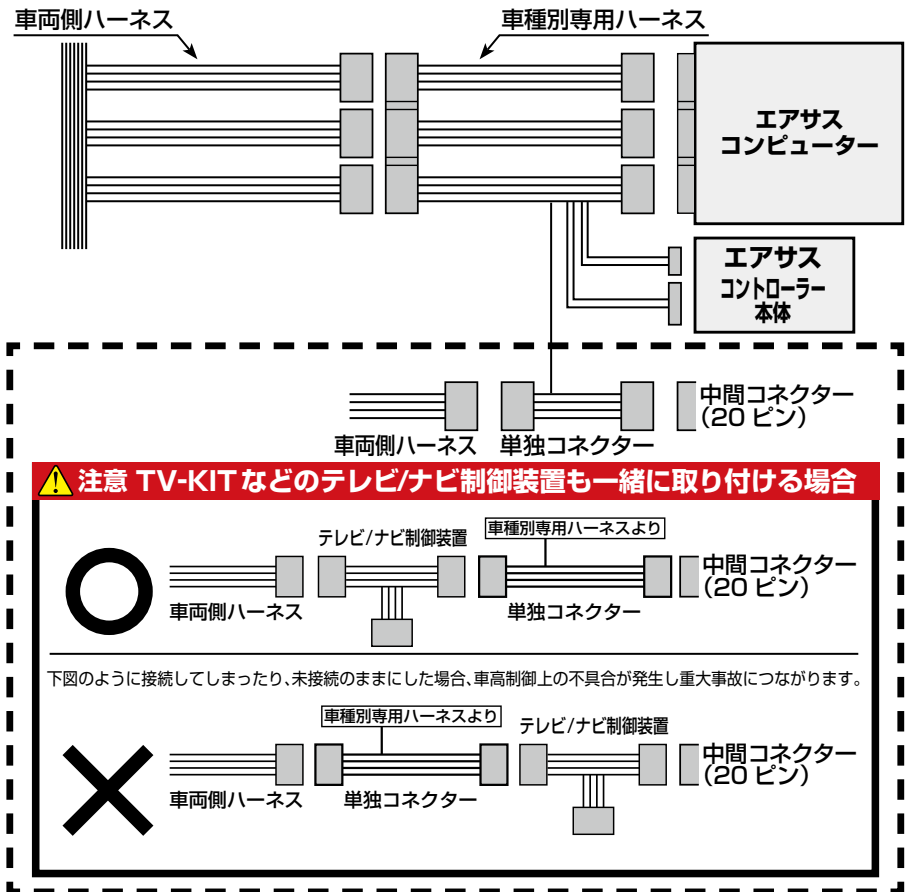
⚠ 6分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります

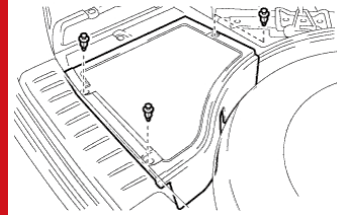
②本書裏面を参照のうえ、エアサスコンピューターを探します。
③基本取付図のようにエアサスコンピューター、車種別専用ハーネス、車両側ハーネス、コントローラー本体を接続します。
④接続を再度確認してバッテリーマイナス端子を接続します。
⑤取扱説明書および下記説明を参照のうえ、本製品の車種設定をおこないます。
⑥エンジンを始動して、コントローラーの取扱説明書どおりに動作（車高設定など）することを確認します。
⑦正常にコントローラーが動作しない、車両のインジケーター（警告灯）が点滅するなどの症状が発生した場合、再度、接続箇所・コントローラーの車種設定を確認します。インジケーターが点滅している場合、バッテリーマイナス端子を6分以上外して記憶を消去してください。
⑧コントローラーの正常動作を確認したら、コントローラーを適切な場所に設置し、パネルやシートなど内装部品を元通りに戻して取付終了です。

Data System 株式会社 データシステム

■［ 本 社 ］東京都新宿区新宿1-18-2　TEL.03-5369-4137（代）
■［倉敷支社］岡山県倉敷市神田1-1-11　TEL.086-445-1617（代）

自動音声案内に従って下記の#（シャープ）と番号を押してください。
#1 適合確認　#2 サービス（技術的なお問い合わせ・修理受付）　#3 在庫確認・ご注文
（※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねますので予めご了承ください）

■基本取付図

⚠ ハイブリッド車の補機バッテリー位置

ラゲッジルーム

●イグニッションキーOFF後、6分以上経過してからマイナス端子を外してください。

■専用ハーネス接続方法

レクサスRX

⚠危険　本製品の取り付け中に、助手席エアバッグを取り外す作業があります

エアバックは正しい手順・方法で作業を実施してください。手順・方法を誤ると、作業中にエアバッグが作動し、生命にかかわる重大な事故につながるおそれがあります。また、取付方法を誤るとエアバッグが作動しなくなるおそれがあります。
次の事項をよく読み、正しい手順で作業をおこなってください。

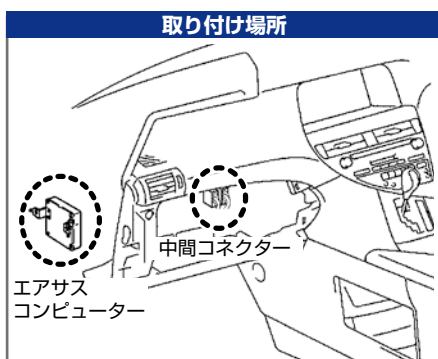
●バッテリマイナスターミナルを切り離したあと、90秒経過してから作業を開始してください。
●エアバッグシステム周辺にある、注意事項を記載したラベルの指示に従ってください。
●取り外したエアバッグを絶対に分解しないでください。
●エアバッグを落下させたり、ひび割れ・へこみ・欠け・その他の変形がある場合は、自動車販売店で点検を受けてください。
●他の車両のエアバッグは絶対に使用しないでください。
●高熱や火気に直接さらさないでください。
●エアバッグ本体に、グリース・洗浄剤・オイル・水などを付着させないでください。付着してしまった場合は乾いた布などで速やかに拭き取ってください。
●エアバッグの取り扱いは、高温・多湿を避け、電気ノイズの影響を受けにくい場所でおこなってください。
●エアバッグを取り外した後は、必ず展開面（エアバッグが膨らむ面）を上向きにして、エアバッグの上に物を置いたり、エアバッグの重ね置きをしないでください。

⚠重要　取り付けの前に

製品の取り付け、取り外し作業の前に、G-セキュリティの設定をしている場合は解除をおこなってください。解除方法は車両説明書または車両販売店にご確認ください。
また HDD ナビゲーションは IG OFF 後、約6分間でメモリー記憶する為、IG OFF 後、6分以上経過してからバッテリーマイナス端子を外してください。

エアサスコントローラー専用ハーネス接続手順

取り付け場所

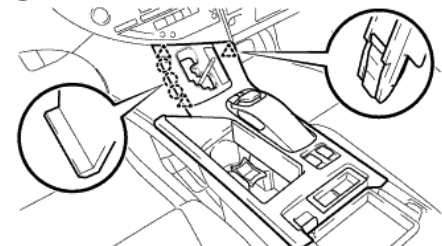
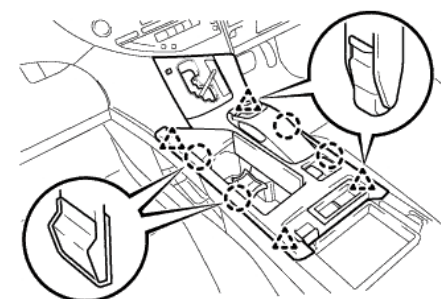
中間コネクター
エアサス
コンピューター

❶シフトノブ取り外し

シフトレバーを「N」のポジションにします。
シフトノブを回して取り外します。

❷コンソールパネル　後方クリップ取り外し

コンソールパネルを上方に引き、パネル後方のツメ、クリップを外します。
シートヒーターなし車はコネクターを切り離します。

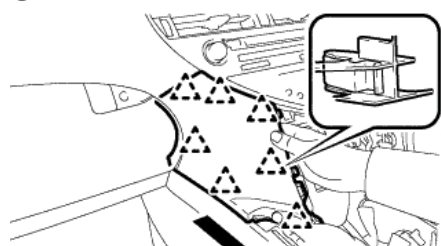
❸シートヒータースイッチ取り外し
シートヒーター付き車のみ

スイッチのツメ（4本）を外して、コネクターを切り離しスイッチを取り外します。

❹コンソールパネル　前側クリップ外し

コンソールパネルを後方に引き、パネル前方のツメ、クリップを外します。

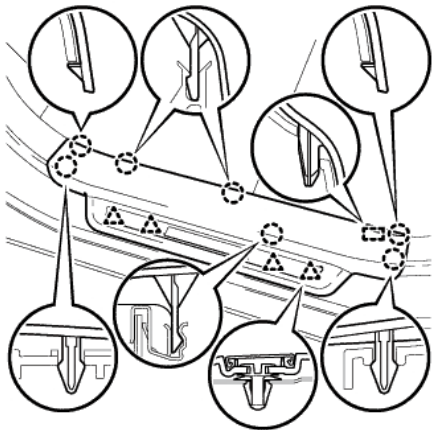
❺パネル取り外し

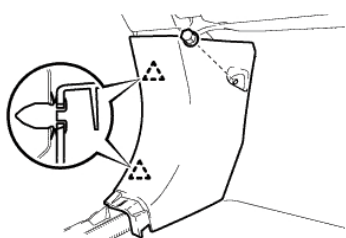
パネルを取り外します。

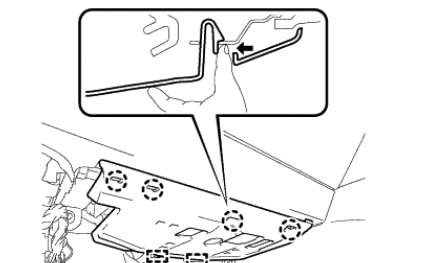
❻サイドパネル(左)取り外し

矢印の方向にパネルを引いてクリップを外し、パネルを取り外します。

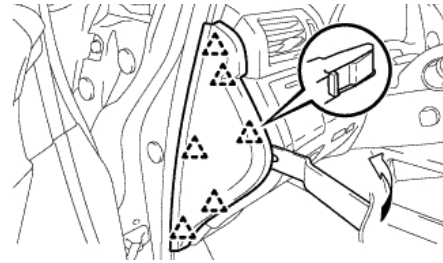
裏面へ

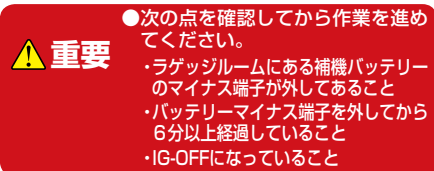
専用ハーネス接続方法つづき

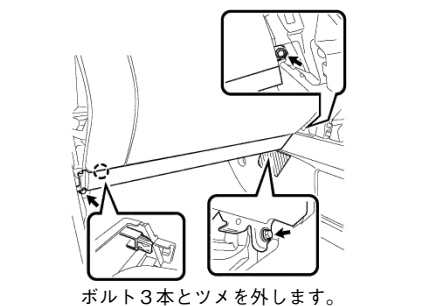
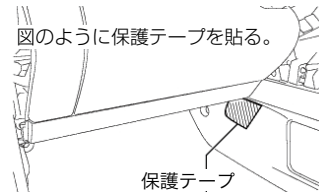
⑦助手席側スカッフプレート取り外し

クリップ、ツメを外し、助手席側スカッフプレートを取り外します。

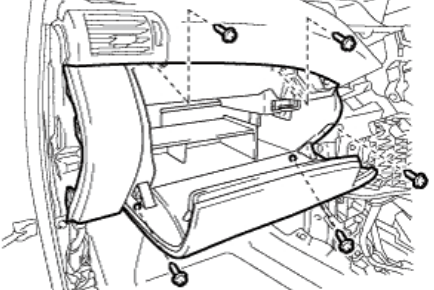
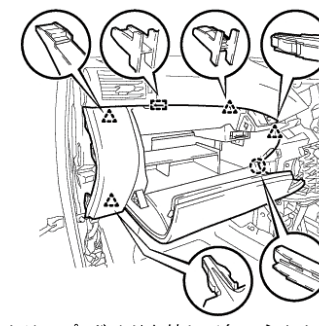
⑧サイドトリム取り外し

樹脂ナット、クリップを外し、サイドトリムを取り外します。

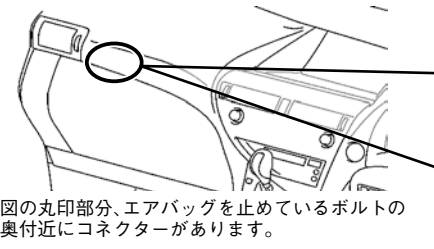
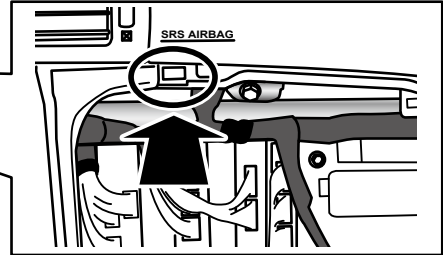
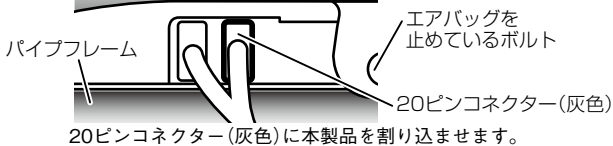
⑨アンダーカバー取り外し

ツメとガイドを外したあとコネクターを切り離し、アンダーカバーを取り外します。

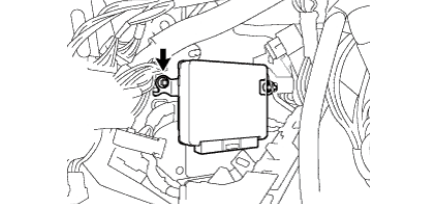
⑩ガーニッシュ(左)取り外し

リムーバーを使用してクリップを外し、ガーニッシュ(左)を取り外します。

⑪ロワーエアバッグASSY取り外し

⚠重要
●次の点を確認してから作業を進めてください。
・ラゲッジルームにある補機バッテリーのマイナス端子が外してあること
・バッテリーマイナス端子を外してから6分以上経過していること
・IG-OFFになっていること

図のように保護テープを貼る。

ボルト3本とツメを外します。

保護テープを巻いた薄刃マイナスドライバーで、コネクターのロックを引き出して解除します。
薄刃マイナスドライバーでコネクターを切り離します。

⑫グローブボックス取り外し

スクリュー5本を取り外します。

ツメ、クリップ、ガイドを外して各コネクターを切り離し、グローブボックスを取り外します。

⑬単独コネクター(20ピン)接続

図の丸印部分、エアバッグを止めているボルトの奥付近にコネクターがあります。

20ピンコネクター(灰色)に本製品を割り込ませます。

⑭専用ハーネスの接続

一番左奥にあるエアサスコンピューターを固定している手前(車体後方側)ボルトを外し、エアサスコンピューター手前を上方に持ち上げて傾けます。

⚠重要 ●この作業をおこなわないと、エアサスコンピューター奥側(車体前方側)のコネクターが車体突起に当たってしまい外せません。

■車種設定

●車種設定値：b1

⚠重要 ●本製品装着後、初期設定(本体およびリモートコントロールユニットの車種設定、保安基準設定)を必ずおこなってください。初期設定方法は取扱説明書9～16ページ「装着したら始めに初期設定をおこなう」をご参照ください。

■使用上の注意

●駐車中の車高について

本製品で車高を上げた状態でイグニッションスイッチをOFFにするとノーマル車高に戻ります。これは車両側車高制御上の正常な動作であり、故障ではありませんので予めご了承ください。本製品で下げた車高はイグニッションスイッチをOFFにしても維持されます。

●荷室モードについて

イグニッションスイッチOFF中、本製品で車高を下げた状態では荷室モード※が動作しない場合があります。また、動作してもノーマル車高より30mm以上、下がることはありません。

※イグニッションスイッチOFF中に、荷室にあるハイトコントロールスイッチ操作により車高を30mm下げる純正機能を指します。

●ハイトスイッチとの併用不可

「NORMAL」以外の車高メモリー(H1またはH2)選択中は、車高設定値に関係なく運転席側及び荷室側ハイトスイッチ操作(HI側・LO側共)をおこなうと、本体に下図の警告画面を表示すると共に車両側モード表示ランプが自動的に「N」に戻ります。本製品による車高設定と車両側ハイトスイッチとの併用はできません。

「NORMAL」選択中は車両側ハイトスイッチが使用できます。

本体警告画面表示

●高速走行時の制御について

純正の機能により高速走行(速度100km/h以上)時に約20mm車高が下がります。本製品で車高を下げた状態でもこの純正機能は働きますので、本製品で設定した車高よりも更に下がる可能性があります。よって走行する際は必ず車高メモリーを「NORMAL」に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください(車高メモリーについては取扱説明書18ページを参照してください)。「NORMAL」以外の車高メモリー(H1またはH2)を選択している場合、純正機能による車高の下がりすぎを極力抑える為、本製品により速度95km/h以上で車高を約20mm上昇させます※。また、この制御は速度75km/h以下になるまで持続し、その後設定した車高に戻ります。但し、この制御によって100%の安全が確保されるわけではありません。予期せぬ車高変化や車高設定値によっては本製品で設定した車高よりも下がる場合もあります。よって走行する際は必ず車高メモリーを「NORMAL」に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください。

※ノーマル車高よりも下げている場合にこの制御が作動しますが、この制御によって車高がノーマルよりも上昇することはありません。また、ノーマル車高以上に車高を上げた設定にしている場合、この制御は作動しません。